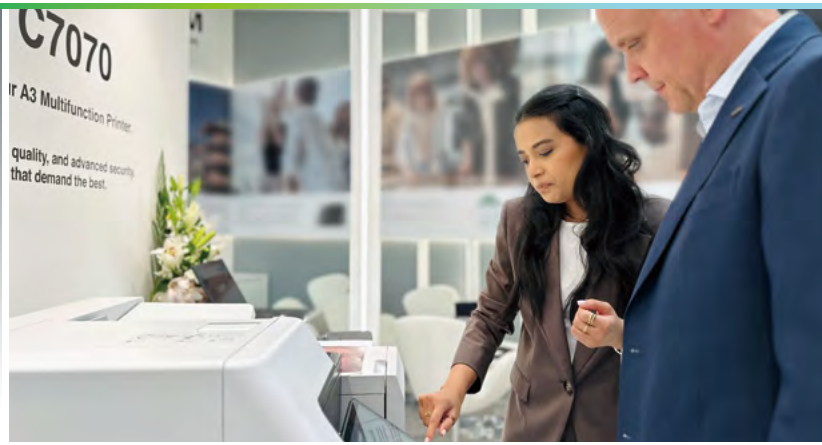
FUJIFILM Holdings Corporation

INTEGRATED REPORT 2025

FUJIFILM
Value from Innovation



富士フイルムグループが大切にすること

グループパーパス

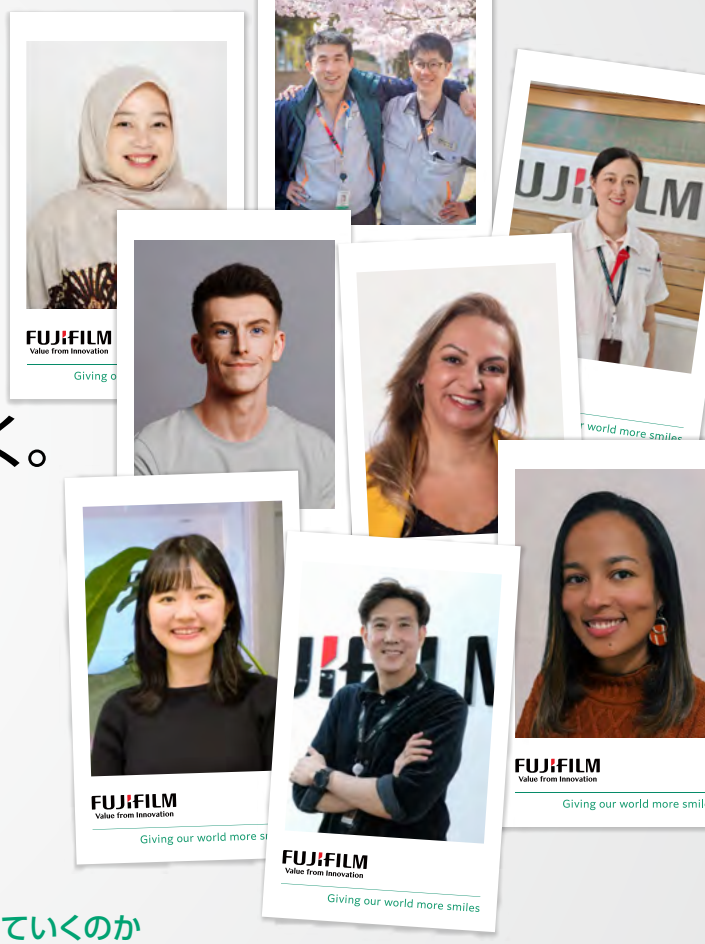
企業理念：富士フイルムグループの社会における存在意義

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、
世界をひとつずつ変えていきます。

コーポレートスローガン

Value from Innovation



私たちはどのように行動するのか

わたしたちはすべての活動に“オープン、フェア、クリア”の精神で臨みます。

企業行動憲章

富士フイルムグループは、次の6原則に基づき、国の内外を問わず、事業活動の展開にあたっては、人権を尊重し、全ての法律、国際ルールを遵守し、その精神を尊重します。その上で、活動によって生じる影響に配慮しつつ、イノベーションを通じて持続可能な社会の実現に向けて自主的に行動します。

1. 信頼される企業であり続けるために
2. 社会への責任を果たすために
3. あらゆる人権を尊重するために
4. 地球環境を守るために
5. 従業員が生き生きと働くために
6. さまざまな危機に備えるために

行動規範

わたしたちは、事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを重視し、新たな価値創造に挑戦します。ビジネスの利益や他者からの要求がコンプライアンスと衝突するときは、コンプライアンスを優先します。“オープン、フェア、クリア”の精神で臨む、それがわたしたちの基本です。

- 人権の尊重
- 公正な事業活動
- 会社資産・情報の保全、保護
- 環境の保全・保護

私たちはどのように実現していくのか

長期CSR計画

Sustainable Value Plan 2030（SVP2030）

2030年度をゴールとする長期目標であり、
富士フイルムグループが持続的に発展していくための経営の根幹をなす計画です。
「事業を通じた社会課題の解決」と「事業プロセスにおける環境・社会への配慮」の両面から、
4つの重点分野「環境」「健康」「生活」「働き方」と、
事業活動の基盤となる「サプライチェーン」「ガバナンス」における目標を設定し、
サステナブル社会の実現に貢献することを目指しています。

中期経営計画

VISION2030

2024年4月、富士フイルムグループは「Sustainable Value Plan 2030」の目標を実現するために、
ヘルスケア・エレクトロニクスを中心に成長を加速させる具体的なアクションプランを策定しました。

CONTENTS

01 富士フイルムグループが大切にすること
02 目次
03 編集方針／情報開示体系

CHAPTER 1

04 企業価値向上に向けたビジョンと原動力

05 CEOメッセージ
代表取締役社長・CEO
後藤 禎一

11 グループパーパスの実現を目指して：
従業員のアスピレーションをイノベーションにつなげる
14 原動力：人材と技術の融合によって実現する事業のトランスフォーメーション
15 価値創造プロセス
16 FOCUS：2000～2020年代の事業変革
17 イノベーションを支える独自技術
20 事業ポートフォリオ
21 グローバルネットワーク
22 多様な資本を基盤とする競争優位性
23 競争優位性の源泉

24 人事部長メッセージ
執行役員 人事部長
座間 康

CHAPTER 2

29 中長期成長戦略

30 過去中期経営計画の振り返り
31 財務パフォーマンス
32 非財務パフォーマンス
33 中期経営計画「VISION2030」の概要
34 中期経営計画「VISION2030」における
企業価値向上に向けた取り組み

35 CFOメッセージ
取締役・CFO
樋口 昌之

40 サステナビリティの基本方針
41 ステークホルダーの期待への対応
42 SVP2030重点課題（マテリアリティ）
43 中長期のリスク・機会とマテリアリティ
47 事業別戦略
47 ヘルスケア
51 エレクトロニクス
54 特集 世界で最も信頼される
半導体材料パートナーを目指す
59 ビジネスイノベーション
61 イメージング

CHAPTER 3

63 基盤強化と資本コスト低減への取り組み

64 研究開発戦略
65 デザイン戦略
70 知的財産戦略
73 DX戦略
78 人権への取り組み
80 責任あるサプライチェーンマネジメント
82 環境への取り組み
86 コーポレート・ガバナンス
86 ガバナンス対談
90 コーポレート・ガバナンス

CHAPTER 4

101 データセクション

102 財務分析と評価
103 11年間の財務データ
105 5年間の非財務データ
106 社外からの評価
107 会社概要
108 第三者保証／真正表明

統合報告書　表紙について

2024年1月に制定したグループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」の実現に向けて、従業員一人ひとりがパーパスへの理解・共感を深め、行動・実践する段階へと進んでいます。この進展を背景に、富士フイルムグループの全事業を通じて社会により良い変化（インパクト）をもたらす革新的な価値を創出していく挑戦への思いを表紙に込めて表現しました。

編集方針／情報開示体系

編集方針

本誌は、富士フイルムグループの企業活動に関する情報の中で、特に株主・投資家の皆さまにとって重要度が高い財務情報・非財務情報とともに、イノベーションとトランスフォーメーション力を軸とした価値創造ストーリーを掲載しています。「ステークホルダーの皆さまに富士フイルムグループが目指す姿をお伝えし、共感いただく」ことを基本コンセプトとし、本統合報告書と「サステナビリティレポート」を連動させて、富士フイルムグループの持続的な成長を目指した取り組みを紹介しています。

報告対象期間

財務・非財務データの集計期間は、2024年度（2024年4月～2025年3月）です。活動内容については、2025年4月以降の事業活動も含んでいます。

参考にした基準およびガイドライン

- IFRS財団：国際統合報告フレームワーク
- SSBJ：サステナビリティ開示テーマ別基準　第1号 、第2号
- GRI：サステナビリティ・レポーティング・スタンダード
- SASB：サステナビリティ会計基準
- 経済産業省：価値協創ガイダンス 2.0
- 環境省：環境報告ガイドライン（2018年版）

本文中に記載の「健康経営®」は、
NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

Environment
Social
Governance
価値協創
ガイダンス

情報開示体系

財務・事業リスク情報
四半期および年度の財務成果と業績目標・事業リスク
- 決算説明会資料
- 定時株主総会招集ご通知
- 決算短信
- 有価証券報告書

サステナビリティ（持続性）に関わる情報
持続性に関する将来展望と取り組み・成果
- サステナビリティレポート
- TCFDレポート
- 情報セキュリティレポート
- TNFDレポート
- コーポレート・ガバナンス報告書

統合思考経営の進化

統合報告書
中長期の企業価値創造に関わるリスク・機会への対応とそれによる社会・環境・財務成果の報告

対話

投資家・アナリスト ／ ESG評価機関 ／ NPO・国際機関 ／ その他ステークホルダー

富士フイルムホールディングス コーポレートサイト
▸https://holdings.fujifilm.com/ja

株主・投資家情報
▸https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html

サステナビリティレポート
▸https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/report